

夏本番！暑熱対策に取り組みましょう！

牛編

なかなか梅雨明けの発表なく、毎日ジメジメした日が続いています。湿度が高いと菌やウイルスが動きやすく、乳房炎等の病気が蔓延しやすくなる傾向があります。

また、湿度が高いと気温以上に熱く感じるのは、牛も人も同様です。適切な飼養管理で、家畜と飼料作物を暑さから守りましょう。

○牛舎の環境改善

- 屋根や壁に白色ペンキや石灰を塗り、気温上昇を抑える。
- 寒冷紗や緑のカーテンにより、直射日光を遮断する。
- 扇風機についた埃や蜘蛛の巣を取り除き、風量を回復させる。
- こまめな除糞で、発酵熱やアンモニアの発生を抑える。
- 畜舎周りの下草刈りや片付けをして、風通しを良くする。

○牛への暑熱対策

- 毛を短く刈ったり、体についた糞の鎧を取り除くことで、体表面からの熱放散を促進する。
- 給水管を太いものに交換し、十分な飲水量を確保する。
- 涼しい夜間の飼料給与を増やす。
- 不足しがちなビタミン、ミネラル（鉍塩）、重曹などを給与する。

○飼料作物への対策

- 過放牧や過度の刈取りを避け、草勢の維持に努める。
- 有機質を多投し、土壌の保水力の向上に努める。
- 耐干性、越夏性に優れた草種、品種を選んで播種する。



家畜の病気に関するお問合せは山梨県西部家畜保健衛生所まで

電話・・・0551-22-0771(平日) FAX・・・0551-22-6728

土日・休日・夜間の連絡は・・・090-5564-1018または090-5568-0817